

OKAYAMA COC+

NEWS LETTER

岡山県立大学 COC+ニュースレター

PICK UP

4週間の地域インターンシップ エンジニアリング演習が開講!

VOL.2

2018.10.1



エンジニアリング | 山陽電研株式会社

高津 芳希 君

情報工学部
情報通信工学科3年

仕事の内容は最初に最終目標を提示され、与えられた課題を1つずつこなすことでその最終目標までの開発を行うというものでした。利用する開発環境やプロジェクト製品に関する資料は膨大であり、また課題も決して容易とは言えない内容で困難の連続でした。けれども、学校での実験とは異なる今回の経験は間違いなく将来のためになると確信しました。

INTERNSHIP

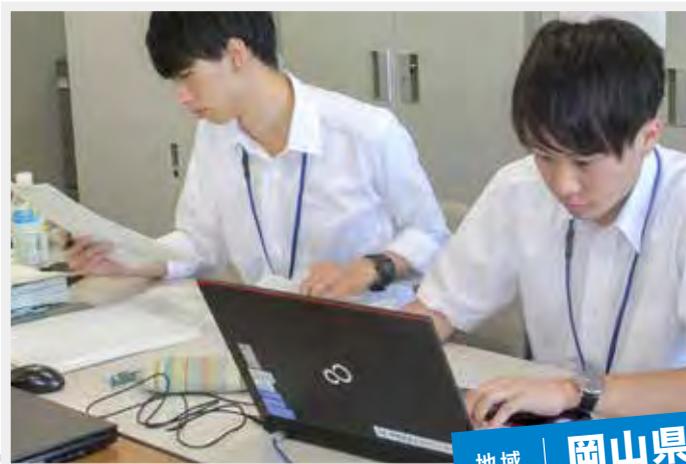
4週間の地域インターンシップ エンジニアリング演習が開講！

岡山県立大学では、4週間の長期インターンシップとして、地域インターンシップ(自治体対象)とエンジニアリング演習(企業対象)を今年度新たに開講しました。自治体や企業において、自分で考え行動することが求められるインターンシップを通して、自分自身の適性を知るとともに、自分の可能性を広げることを目的としています。

岡本 光稀 君

情報工学部
人間情報工学科3年

インターンシップを通じて、どのように相手に伝えることが分かりやすいか、作業後、次に自分には何が出来るかを考えることを改めて学びました。仕事はいかに効率よく行うかが大切になってくるとも学ぶことができ、これからの将来、職に就くときに活かしていきたいです。



地域 | 岡山県



地域 | 総社市

片山 出海 君

デザイン学部
デザイン工学科3年

市政情報課では、各地の取材を行い広報誌やホームページ等に使用する資料作成をしました。働く中でその土地をよく知ることが重要だということを学び、被災現場では、そこでどんなことが起こったのかをより詳細に感じ取ることができました。今後自分に必要なスキルや心構え、考え方を養っていきたいと思いました。

難波 裕昌 君

情報工学部
人間情報工学科3年

備前市の里海・里山ブランド推進協議会のFacebookの更新を任せられました。実際に市内を視察し、多くの人に閲覧されるように投稿する内容を考えながら、素材の撮影を行うことで、地域の新たな魅力を発見しました。また、仕事を任せられることでやりがいと責任感を感じました。



地域 | 備前市

エンジニアリング演習の感想を聞きました



杉井 博紀 君

情報工学部
情報通信工学科3年

実感したのは、シミュレーションの重要性です。実測値の結果と比較し、何のパラメータが結果に影響しているか考察することが大切だと感じました。レーダー開発は全く知識のない分野だったため、日々吸収することが多く、自分の知識、経験値としてプラスになりました。



エンジニアリング | シャープタカヤ電子工業株式会社

片山 亮佑 君

情報工学部
情報システム工学科3年

低級言語ほどハードの事を考慮して作らなければならないことやコストや予算等も考え、仕事をする事の難しさを社員の方に聞くことができて良かったです。複数の会社を見て比較したわけではないですが、とても好印象だったので、今後の就職活動の基準にしたいと思いました。



エンジニアリング | タカヤ株式会社

玉田 真衣 さん

情報工学部
情報システム工学科3年

普段は友人やアルバイト先等でしかコミュニケーションをとる機会がありませんでした。インターン先で社会人の方と接することでマナーや考え方を知り、とても刺激になりました。学生とは物事に対する考え方が違い、甘い考え方に喝を入れられた気がして、貴重な体験だと思いました。



エンジニアリング | シバセ工業株式会社

田中 理沙 さん

情報工学部
人間情報工学科3年

曖昧な状態で今回のインターンシップに参加しましたが、楽しんで取り組むことができました。特に改善することの重要性を学びました。これからは、日頃から疑問に思ったことは放置せず、解決できるように質問したり、調べたり何かアクションを起こすと同時に原因を考え、改善につなげたいです。



エンジニアリング | 株式会社アステア

ご協力ありがとうございました

地域インターンシップ
(21名参加)

岡山市、総社市、笠岡市、備前市

エンジニアリング演習
(34名参加)

内山工業(株)、オーエム産業(株)、オージー技研(株)、三菱工業(株)、山陽電研(株)、シャープタカヤ電子工業(株)、タカヤ(株)、ユアサシステム機器(株)、(株)英田エンジニアリング、井原精機(株)、オーエム機器(株)、岡山ネットワーク(株)、カイトック(株)、興南設計(株)、シバセ工業(株)、セリオ(株)、日進ゴム(株)、(株)システムズナカシマ、(株)ベネッセインフォシエル

7/31 火

地域創生コモンズ あかいわ開所!!

赤磐市熊山支所で関係者約20名が出席し、岡山県立大学辻英明学長、赤磐市友實武則市長のあいさつ、備前県民局藤本局長の来賓祝辞の後、看板掲示及びテープカットを行いました。また、赤磐市保健福祉総合センターで開催された開所記念講演会では、「地域共生社会の実現に向けて」と題して、本学名誉教授である犬飼義秀COC+推進室統括コーディネータが、地域の高齢化や災害の発生を踏まえた、地域共生社会の実現の必要性について講演しました。これにより、地域と大学との連携の場となる地域創生コモンズは、真庭市、総社市、備前市、笠岡市に開所したものを合わせて5箇所となりました。

TOPICS



7/14 土 - 16 日

主な7月豪雨災害に関する支援活動

01 大学独自の取組

総社市での災害ボランティア活動

概要 総社市内の被災場所や避難所にて、ボランティア活動に従事。

期間 7月14日～16日の3日間(250名参加)

看護学科・保健福祉学科教員による救護活動

概要 総社市健康医療課と現場ニーズ調査へ同行し、必要な支援を検討。後半の3日間は、救護所において住民・ボランティアの熱中症や外傷等の処置対応。

期間 7月11日・13日及び7月14日～16日の3日間

実績 看護学科教員延べ17名、保健福祉学科教員延べ2名

栄養学科による野菜料理食の提供

概要 避難所生活者への栄養補給のため、野菜料理を大学内で調理し配送。

期間 7月27日・31日、8月3日・8日の4日間

実績 550食
(27日120食、31日150食、3日130食、8日150食)

教職員及び学生に対する募金活動の実施

概要 AMDAを通じて被災者支援に充てるとともに、総社市の避難場所への野菜料理の提供にも活用。

期間 7月10日～9月9日

02 県及び団体と連携した活動

被災した子どもの安全・安心な居場所の提供

(主催:県子ども未来課)

概要 被災した地域の子どもの対象に、大学内に居場所を設置し、避難所から送迎バスを運行。

期間 7月18日～8月31日

実績 利用者累計785名、ボランティア累計397名(登録者261名)

ロボットプログラミング教室の開催

(主催:KINAKO ※県子ども未来課協力)

概要 倉敷市や総社市の避難児童を主な対象としたロボットプログラミング教室での会場提供と学生ボランティアの指導補助。

期間 8月22日 会場:県立大学本部棟大会議室

実績 子ども18名、保護者6名、学生ボランティア延べ8名

AMDAとの連携活動

概要 避難場所の岡田小学校、園分館における足浴補助等のボランティア。

期間 7月30日～8月15日

実績 学生延べ10名、教員延べ22名派遣

7月豪雨災害復旧ボランティア実施



平成30年7月豪雨により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様の安全と被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

岡山県立大学では、COC+推進室が窓口となり、被災された地域(総社市、倉敷市、岡山市)からの要望に対して、学内で周知を行い、災害復旧ボランティア派遣を行いました。特に大学所在地である総社市に関しては、7月14日(土)～16日(月)の3日間に被災地において、多くの学生および教職員が参加し、大学をあげて活動しました。また、被災した子どもの安全・安心な居場所の設置場所として、学部共通棟(西)チェッピーひろば等を提供するだけでなく、その活動期間について、学生および教員もボランティア活動を行う等、大学の資源を活用したさまざまな活動を実施しました。

編集後記 村井聡紀

第2号では「長期インターンシップ」を特集しました。地域インターンシップには21名、エンジニアリング演習には34名の学生が参加しました。1か月にわたった、職場での実体験を残りの学生生活へ活かしてもらいたいですね。

また、総社市での災害復旧ボランティアでは、大変お世話になりました、ありがとうございました。COC+NEWS LETTERは「ほぼ隔月」で発行します。ご意見、ご要望、記事の投稿をお待ちしています。



editorial
note

地域でつながる 域学連携活動 ACTIVITIES



池田動物園すけっと プロジェクト参加

5/11 金
- 7/1 日

岡山県立大学、池田動物園、池田動物園をおうえんする会、日本テレビ (AXON) が企画する「すけっと」プロジェクトにデザイン学部造形デザイン学科の学生39名が参加しました。7月1日のインスタ映えスポットオープン日にはテレビ番組の撮影が行われ、中心メンバー6名がナビゲーター役として出演し、当日は約1600名が来場されました。



歩得・食得 元気なからだ教室開催

6/26 火

岡山県立大学において総社市保健福祉部健康医療課との協働で、地域住民50名を対象に保健福祉学部栄養学科の学生が中心となり、糖尿病の重症化予防のための食事療法に関する糖尿病教室を行いました。総社市の歩得事業に参加されている血値が高めの方を対象に行われ、半年間継続的に実施し、効果を判定するため食事調査等も行います。



備前市栄養教室 目からうるこの減塩術 無理なく楽しくおいしく減塩!

7/10 火

備前市市民センターにおいて備前市保健課管理栄養士と協働で、地域住民25名を対象に保健福祉学部栄養学科の学生が中心となり、備前市の健康づくりのための栄養教室で食育を行いました。備前市の食育の課題である「高血圧予防」をテーマに、健康講話「無理なく楽しくおいしく減塩!」と「目からうるこの減塩料理」の調理実習を実施しました。

総社市こども料理教室 おいしく食べよう朝ごはん! 米粉を使った簡単レシピ



8/11 土

また、岡山県立大学において総社市まちづくり協議会、NPO法人保育サポート「あい・あい」と協働で、地域住民24名を対象に、総社市の健康づくりのためのこども教室で食育を行いました。「主食主菜副菜のそろった朝ごはん」をテーマに、健康講話「おいしく食べよう朝ごはん!」と地産地消の推進を狙いとした夏野菜と米粉を使った簡単朝ごはんレシピの調理実習を実施しました。

7/27 金

地域でひろがるコモンズ・キャンパス

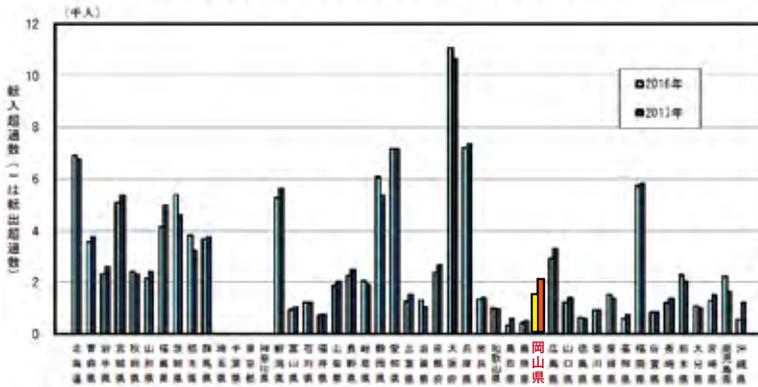
真庭市立中央図書館においてCOC+参加大学である就実大学教育学部の安久津太一講師による「わくわくヴァイオリン体験 音と絵本のコラボコンサート」を行いました。参加者は地域住民17名(7組)の親子で絵本に音楽をつけることを目標にパート練習を行い、最終的に全員で演奏しました。表現や演奏技術について子どもも大人も一緒に学び、ともに楽しむことができました。



連載 七番勝負第二局

地方圏から東京圏への 転入超過の状況について

東京圏と他の道府県との間の転入超過数(2016・2017年)



出典:住民基本台帳人口移動報告 2017年結果 結果の概要(総務省)

平成29年の住民基本台帳人口移動報告書によれば、東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)と岡山県との間の転入超過数は、東京圏への転入超過数が平成28年に比べて599名増(1,453名→2,052名)と、増加した全28道府県の中で3番目の増加数となっています。なお、東京圏以外の全ての道府県との間で東京圏が転入超過となっており、転入超過の増加数が多い順に、福島県(826名増)、沖縄県(625名増)、岡山県(599名増)となっています。東京圏への人口流入に歯止めをかけることにより、東京一極集中の是正が必要です。

COC+ クロスワードパズル

※カタカナでお答えください
※小文字の拗音(ヤ、ユ、ヨ)や促音(ッ)は大文字の直音として扱います

	1		7		C	8
2			3			
4						B
5	A					
		6				

ヨコのカギ

- 真庭市で行われている資源循環の一連の流れや仕組みを体感できる「○○○○○ツアー」。
- 物をのせるものだったり、人が乗るためのもの。
- 布を織る機械のこと。
- ハアーと、口や鼻から吐く呼気や吸う吸気のこと。
- 旭川の支流で、真庭市にあるたくさんの猿のいる滝。
- 真庭市で開発されたB-1グランプリに輝いた「○○○焼そば」。

タテのカギ

- 人体に有害な細菌などの微生物の俗称で、転じて、汚いものや厄介ものたたとえ。
- 真庭市が制定する真庭ブランドにも選ばれた「○○○梨」。
- 「希望と元気な真庭づくり」の進化を目指す、真庭市長「○○○○○○氏」。
- 牛肉を豆腐やネギなどと一緒についで煮焼きしながら食する鍋料理。

ヒント HINT

地域創生コモンズ
まにわのある地域

回答	A	ツ	B	C
----	---	---	---	---

プレゼントに応募しよう!

PRESENTS

クロスワードパズルを解いて、プレゼントに応募しよう。連携自治体の真庭市の問題を出題しています。必要事項を記入の上、右記メールアドレスまで応募ください。正解者の中から抽選で5名様に「岡山県立大学グッズセット」をプレゼントします。(今回は真庭市寿園提供のお茶、真庭地域事務所のグッズもプレゼントします!)



5名様

必要事項

- 件名に「クロスワードプレゼント」と記載。
- 本文に「答え」「氏名」「郵便番号」「住所」「年齢」「電話番号」を記載。

個人情報の取扱について

- お寄せいただいた個人情報は、当クロスワードパズル以外の目的には使用いたしません。

メールアドレス: cocplus@oka-pu.ac.jp

締め切り: 平成30年11月30日 金